

みんなで助け合い、支え合う

町民の中には助けを必要とする人がいます。その手助けをしているのが「邑助けネットワーク」。地域での助け合い、支え合いを町民主体でつづけています。今回は邑助けネットワークを利用する人たちの声を紹介。問合せ先 役場福祉介護課 ☎47-5045

邑助けネットワーク

地域の困りごとを協議

自分が高齢になっても、住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らしていくためには、公的な制度のみでなく、「ごみ出しや買い物」の支援など、地域での身近な助け合いが大切です。

町には、地域での助け合いや支え合いの体制をより進めていくために、平成29年に『邑助けネットワーク』という組織ができました。町民が主体となり、地域での課題や困り事を解決する方法を探し、助け合いの活動を地域に広げていくことが目的です。

邑助けネットワークには、第1層協議体と第2層協議体があります。第1層協議体では、町全体の課題や地域資源活用等の検討、関係機関との連携、活動の周知などについて、月1回の情報交換を行っています。第2層協議体では、第1層協議体の会議で提起された町全体の課題を各小学校区に合った

形にするために、話し合いを重ねています。また、身近な困りごとや地域ごとに必要なこと、自分たちにできそうなことを考え活動しています。今回の特集では、第2層協議体のそれぞれの活動内容と、利用者の声を聞いてきました。

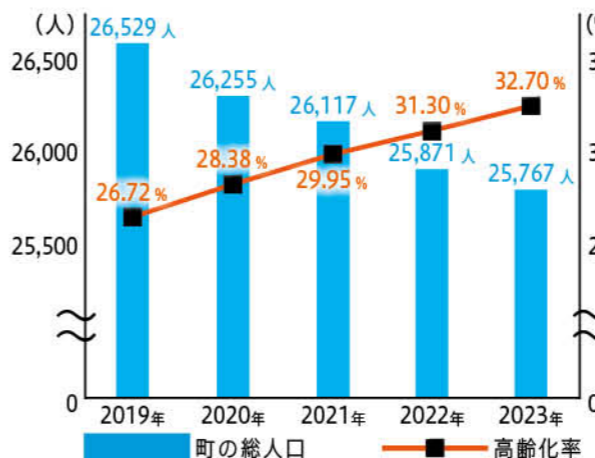


2月に行われた邑助けネットワークの活動報告

協議体の構造



町の総人口と高齢化率の推移 (4月1日時点)



全国的にも進む高齢化。邑楽町も例外ではなく高齢化が進んでいます。実際、総人口は減少し、高齢者(65歳以上)の割合は年々増加傾向にあります。そのため、手助けが必要な人が増え、地域での助け合いが重要になってきています。

進む高齢化に向けて
ますます重要な助け合い



長柄小区協議会

長柄小区協議会(以下、長柄小区)には11行政区あり、メンバーは59人。行政区が多いことから4つの地区に分けて活動をしています。



三ツ井さんちの居場所に集まり、みんなで談笑

長柄小区の活動

- ・声掛け見守り
- ・ごみ出し支援
- ・移動販売車の誘致対応
- ・居場所設置の推進

●利用者の声

三ツ井有次さん
(店高原・28区)



ここでの談笑が楽しみ

集会場の向かいに立つ邑助けネットワークの『のぼり』。そこに『三ツ井さんちの居場所』があります。ここは長柄小区のメンバーたちが手づくりした場所。『のぼり』が開催の合図で誰でも立ち寄ることができるので、私もよく顔を出しています。利用者の中では出掛けるきっかけができてよかったという声も聞こえます。集まって話すことは楽しいですし、何より笑顔でいられます。

高島小区協議会

高島小区協議会(以下、高島小区)には8行政区あり、メンバーは46人。移動販売車の買い物支援時には、待ち時間に輪投げなども行っています。

高島小区の活動

- ・声掛け見守り
- ・ごみ出し支援
- ・移動販売車の誘致対応
- ・居場所設置の推進

●利用者の声

小澤ムラ子さん
(谷中蛭沼・11区)



笑って話すことが元気の源

三食作っているから買い物に行かなくてもいい。でも、車を運転できない。そんなときに、地元の人に誘われて、ここで買い物をするようになりました。移動販売車の上り下りも支えてもらえるから安心です。買い物の待ち時間も話し相手があるので時間も持たせません。誰かと話して、笑っていることで今も元気でいられます。これからも、この場所を楽しみにしています。



移動販売車の上り下りもメンバーの人に支えてもらって安心

2025年には団塊の世代が75歳を迎え、全国の後期高齢者の割合が4人に1人の世の中へ突入。さらに、2040年には団塊ジュニア世代が65歳以上となり、社会保障費も増加することが考えられます。人生100年時代を迎え、高齢者や障がいのある人に毎日を元気に過ごすことも重要なことではないかと思えます。邑助けネットワークでは利用者の健康増進も考えてい

居場所から活力が生まれる

邑助けネットワークの第2層協議体の活動が始まってから、それぞれの地域に合ったサービスを模索していく中で、一人暮らしが多い地域、買い物支援を必要としている地域などがあることが分かりました。地域のニーズに合わせて、どんなことができるかを考えて実行していき、その結果利用者も増えてきています。ですが、邑助けネットワークの知名度はまだまだ低いです。潜在的に手助けを必要としている人は多くいると思えます。だからこそ、邑助けネットワークを知ってもらうために、今後は独自の広報紙の発行を考えています。

更なる周知活動を展開

私が幼少期の頃、地域内での助け合いがありました。今だからこそ昔のような助け合いが必要なのではないのでしょうか。邑助けネットワークではメンバーの募集を随時行っています。この特集を読んで少しでも興味が出た人は一度見学に来てみてください。できることをできる範囲で「地域で助け合い、支え合いませんか。」

始めませんが、邑助け合い

て、各地域で健康体操や軽い運動を実施。その他にも、『居場所(誰もが集まれる場所)』を設けることで、一人で家に居るよりも誰かと話している方が元気になるという声が届いています。



● 邑助けネットワーク
第1層協議体 座長
内田雅行さん(石打・20区)

これまでも これからも 邑助け合い

東小区お互いさまネットワーク

東小区お互いさまネットワーク(以下、東小区)には8行政区あり、メンバーは17人。行政区ごとに分かれて買い物ツアーを実施しています。

東小区の活動

- ・声掛け見守り
- ・ごみ出し支援
- ・買い物支援
- ・居場所設置の推進



● 利用者の声
中村あや子さん
(明野・34区)

いつも楽しい買い物ができる

車を持っていないので遠くまで買い物に行くことができませんでした。そんなときに、区長さんから買い物支援に誘われて参加するようになりました。自宅に迎えが来てくれて、ショッピングセンターへ連れてってもらい、買い物を楽しむことができます。買い物が終わった後は、みんなでご飯を食べるのでその日は一日楽しいです。この場所を提供してもらえて本当にありがたいです。



太田市の大型ショッピングセンターでの買い物帰り

中野小区協議会

中野小区協議会(以下、中野小区)には7行政区あり、メンバーは20人。希望者には自宅前にごみ出しBOXを設置しごみ出しをサポートしています。

中野小区の活動

- ・声掛け見守り
- ・緊急時の声掛け見守り
- ・ごみ出し支援
- ・健康だよりの配布
- ・居場所設置の推進
- ・野菜苗の無償配布

● 利用者の声

栗原ミヨ子さん
(千原田向地・9区)



来てくれるから元気になる

見守り活動は毎月1回メンバーの人が顔を見に来てくれます。そのときに自分が一番気になっていることを話します。来てもらうようになってから元気になっています。気にかけてくれるから元気でいなくて思っただけかな。見守り活動を通して、ふれあいサロンや健康体操に誘ってもらいました。最初は不安でしたが、行ってみると他の参加者たちから歓迎されてうれしかったです。



見守り活動でのおしゃべりは毎月の楽しみ

■ 東小区お互いさまネットワーク

対象行政区▶1、2、12
~15、33、34区
問合せ▶渡邊孝治
☎090-8876-8143

■ 長柄小区協議会

対象行政区▶22~32区
問合せ▶松島昭次郎
☎88-4064

邑助けに興味がある人は各協議体のリーダーへ

■ 中野小区協議会

対象行政区▶3~9区
問合せ▶小島郁志
☎090-5821-9016

■ 高島小区協議会

対象行政区▶10、11、16~21区
問合せ▶佐藤俊彦
☎080-3403-7312